

## 第 222 回広島大学平和センター研究会

### 「アメリカ政治社会の分断と社会契約の喪失」を開催

日時：2019 年 3 月 15 日（金）15：30～17：00

場所：広島大学東千田キャンパス東千田未来創生センターM302

成蹊大学法学部の西山隆行教授（比較政治・アメリカ政治）を講師としてお招きし、第 222 回平和センター研究会を開催（主催）しました。また、熊本学園大学社会福祉学部の向井洋子准教授（社会福祉政策史、現代アメリカ政治）が討論者として登壇しました。

今回の研究会では西山教授には、アメリカ社会のイデオロギー的分極化、統治機構に対する信頼度の低下、政党規律の高まり等に関し、豊富なデータを交えてお話しいただきました。このなかで、西山教授は、市民の中にリーダーシップを求める心理があることや、テレビにおける報道番組の退潮、オピニオン番組、SNS の勃興、フェイクニュースが持つ問題点について指摘しました。

これに対し向井准教授より、社会契約の喪失の意味の確認、草の根民主主義の平和に対する貢献について問題提起がなされました。その後、議論はフロアに開放され、活発な議論が展開されました。

